



月例映写会について

国立近代美術館では、フィルム・ライブラリーで内外古今の優秀映画の収集保存とその活用を努めております。今回は「世界の児童画」展の期間中、月例映写会として次の短篇二本を月・水曜日を除く毎日二時から上映いたします。

空気のなくなる日

五巻

日本映画社作品

原作 岩倉政治
脚色 伊東寿恵男
演出

一、この映画のあらまし

(いまからちょうど四十四年前——明治四三年・一九一〇年——ハレーすい星が地球に近づいてきました。人びとはあのすい星が地球にぶつかつたら地球はめちやめちやになつてしまふとおおさわぎをしました。こんなことになりはしないか、こんなふうになつたらたいへんだといつて、ずいぶんおかしはなしが方ほうで起きたものです。これはそのひとつのはなしを材料にしてつくりあげた映画で、だから今から四十年ほど前、あるいなかでほんとうにあつた話というタイトルが始めについているのです。)

ハレーすい星が地球にいちばん近づく日のちようでおひるから五分間地球の空気がなくなつてしまふといふうわさがひろがりました。さあ村の人たちはおおあわてです。校長先生は全校のこどもたちにいきを五分間とめる練習をやらせし、おかねもちの家では町の自転車屋にいつてタイヤのチューブをありつたけ買ひしめ、いよいよよとなつたらチニープの中の空気をすつて生きのころうとむらゆうになつてためしています。

おかねのない家ではたたいししようけんめいにおいのりをします。だれもかれもこうやつてさわいでいるなかで、ただひとり水谷という女の先生だけは、ほんとうにそんなことが起こるだろうかと思えていました。

やがてその日がとうとうやつてきました。学校ではかなしいおわかれの式がはじまるし、人びとはみんな家のなかにたてこもつておそろしいおひるがくるのを待つています。時計の針はどんどん進んでいよいよ十二時をさすことになりました。「もうこれでおしまいでしよう、空気はいつこうなくなりそうにもありません。お日さまはいつものようにあかるくかがやいて、つまらないうわさにあわてさわいだ人びとにしつかりしなさいと呼びかけているようです。

一、この映画の見かた

みなさんはこの映画を見て「なんてばからしいはなしだろう」と思うでしょう。たしかにこれはばからしいはなしです。けれども、おなじようなことはいまの私たちのまわりにもたくさん起きています。だれさんがこういつたからこうなのにながいがい「とか、「こういふはなしだからそうしなければいけない」とか、「こういふんで考えてもみずにひとのいつたことをすぐ信じこんでしきつて、そのためにはたから見るとばかばかしいことをやっているのを見るとよくわかるのですが、それもひとがやっているのを見るときはよくわかるのですが、さしてぶんのことになるとなかなかわかりにくいものです。こうしたことについて反省する手がかりをこの映画から引きだしてほしいと思います。それといつしよに、もうすぐ死ぬかもしれないということになつたときのいろいろな人のすがたを、いく観察して考えてみることもためになるでしょう。別にむずかしいことを考えずにおもしろく見てくださいだけでもけっこうですが、これはふつうの映画とちがつてわざわざみなさんのためにつくられた児童映画で、しかもそうしたものなかではいちばんよくできているといわれる作品

ですから、みなさんも見たあとでいろいろと考えあひ話しあうようにところがけてください。(関野嘉雄)

子うさぎものがたり

二巻

日動映画株式会社作品

一、この映画のあらまし

これは二ひきの子ウサギのはなしです。

しずかな野はらにおかあさんウサギとすんでいる子ウサギの兄弟があらしました。子ウサギは毎日おかあさんから「ウサギのくらしかた」を教わりました。兄さんウサギはおかあさんの教えをよくまもつてくらしかたをどんどんおぼえていきましたが、弟ウサギの方はちやめさんで練習をまじめにやろうとしません。

きょうも弟ウサギはかつてに遊びまわっているうちにキツネに見つかつてしまいました。こういうときのことをよく練習していなかったため、いつしうけんめいににげまわりますがどうしてもうまくいきません。

いよいよ追いつめられた弟ウサギがいまにもキツネに食いつかれようとしたとき、おかあさんウサギはキツネの注意をじぶんの方に引きつけて弟ウサギをたすけました。そのおかげでこんどはおかあさんウサギがあぶなくなりません。やつとおかあさんが安全になるとキツネはまた弟ウサギにとびかかります。しかしさすがのちやめさんでもこんどばかりはおかあさんの教えをよくまもつたのでキツネはあべこべに人間のしかけたワナにかつてしまいました。

ようやくたすかつたウサギの親子はなかく草はらをとおつてお家へかえつていきます。

一、この映画の見かた

これはマンガ映画ですからむずかしい見かたはいりません。たのしくわらつて見ていけばよいのです。そうしているうちにやつぱり勉強することはちゃんと勉強しておかなければいけないのだといつたことをしぜん考えるようになるでしょう。

(関野嘉雄)